

武部建設(岩見沢市)

代表取締役 武部豊樹氏



工務店×建築家

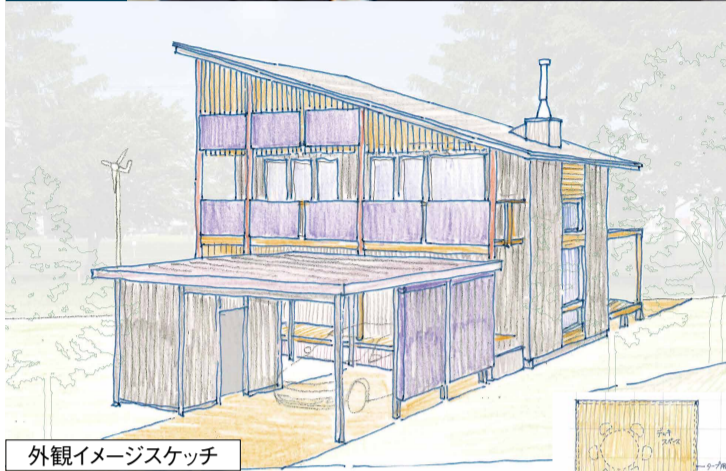
一級建築士事務所アトリEmomo(札幌市)

主宰 櫻井百子氏

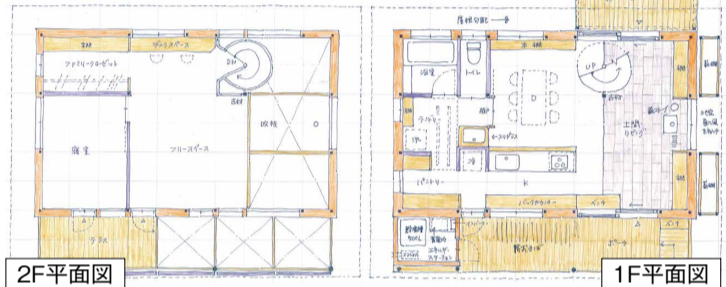


# ゼロカーボン ヴィレッジ対談

## 第3回



外観イメージスケッチ



2F平面図

1F平面図

地域工務店と建築家が協働グループを組んで北方型住宅ZEROの住まいづくりを行う空知管内南幌町の「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」。現在11グループの基本プランが公開され、オーナーを募集 중이다。工務店と建築家がどのような考えでこのプロジェクトに参加し、どのように協働していったのか、対談形式で内幕を聞くシリーズ。第3回は武部建設(岩見沢市)社長の武部豊樹氏と一級建築士事務所アトリEmomo(札幌市)主宰の櫻井百子氏。二人が目指す自然エネルギーとともに暮らす住まいとは。

### 太陽光発電ありきではなく

武部氏と櫻井氏は、2018年に分譲を開始した南幌町みどり野きた住まいるヴィレッジからタッグを組み、「てまひまくらし」と名付けた住宅を5棟手掛けている。今回、自然エネルギーをさらに多用した「てまひまくらしplus(プラス)」を提案した。

最初からしっかりイメージができていました。武部 太陽光パネルをどういう風に設置するのか。プラスの手すりに付ける案は、これしかないと思った。デザインと機能性のバランスをとると屋根に設置するのは薦めない。家全体の形を決めるのに屋根は重要だし、落雪などさまざまなリスクが出てくる。

### 地域を良くする家

櫻井 てまひまくらしは北方型住宅ZEROの基準に合わせたらどうなるのかに答えたプランです。これまで南幌町で建ててきた住宅の暮らし方や価格帯などを踏まえ、

### エネルギーを配分

櫻井 太陽光は電気に変えるだけでなく、そのまま熱としても使いたいです。お湯は温水暖房と給湯に使い、足りない分はエコジョーズで補います。あと、南幌町は風の街だから、地域性を生かしたくて小さな風力発電も提案に盛り込んでいます。必須設備ではないんですけど、そこまで私たちは考えていることを知ってほしい。

武部 北方型住宅ZEROの要件を満たしたら、今までの住宅より高くなると。例えば3500万円だったものが4000万円を超える。顧客はその中身を納得した人でないと。納得してもらうためには櫻井さんが言うように、もう一歩二歩踏み込んで、使うエネルギーがどういう配分で、どう使われるか説明する必要があります。

櫻井 床下の温水暖房の熱をパッシブ換気で家中に回し、薪ストーブを併用します。できるだけ空間を小分けにしない工夫もしています。

武部 この空間だったら薪ストーブ一台でも十分賄えると思う。

櫻井 武部さんと基本設

計の段階から一緒に考えるというの、すごくいいことばかりです。建物本体だけの見積もりを出していたら、概算が見えたら、あとは実施設計でどんな材料を使ったらいいか、工法とか相談しながら進めていけるのは、建主さんにもメリットがある。みんな仲良くなっ

てチーム感も出るんです(笑)。

武部 設計段階で一体となって図面を描くと、実設計での施工図が少なくなるから実に効率がいい。ただ、一番大事なのは作るものに対する考え方が一致しているか。一致していないと重なる部分が多いか。

櫻井 重なっていたからこうして続いています。

武部 もうかなりお互いのことが分かっているから、図面を描く枚数も少なくなっているよね。

櫻井 てまひまくらしの1棟目からスタンダードな形ができましたよね。断面は同じで平面のプランだけ変えるように合理化できました。その分、設計料は建主さんにきちんと還元しています。

武部 棟数を重ねていくうちに設計施工の密度が高まった。磨かれて洗練されてきた。次はこのplusを建てないかね。磨かれるのが止まってしま

う(笑)。

重なる部分が多い

武部 この空間だったら薪ストーブ一台でも十分賄えると思う。

櫻井 武部さんと基本設

計の段階から一緒に考えるというの、すごくいいことばかりです。建物本体だけの見積もりを出していたら、概算が見えたら、あとは実施設計でどんな材料を使ったらいいか、工法とか相談しながら進めていけるのは、建主さんにもメリットがある。みんな仲良くなっ

てチーム感も出るんです(笑)。